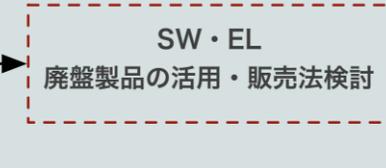
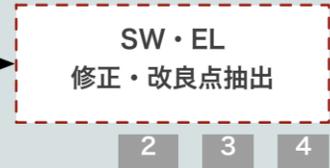
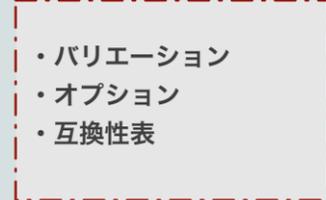
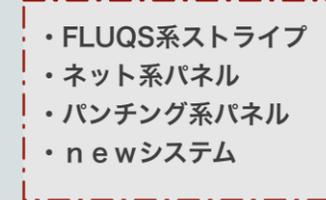
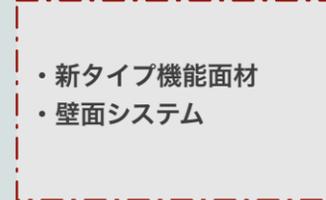
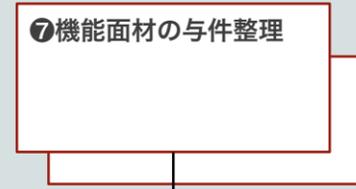
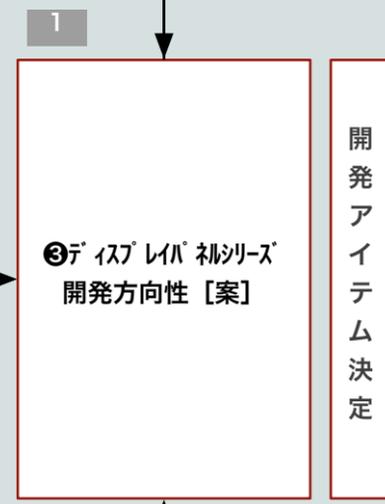
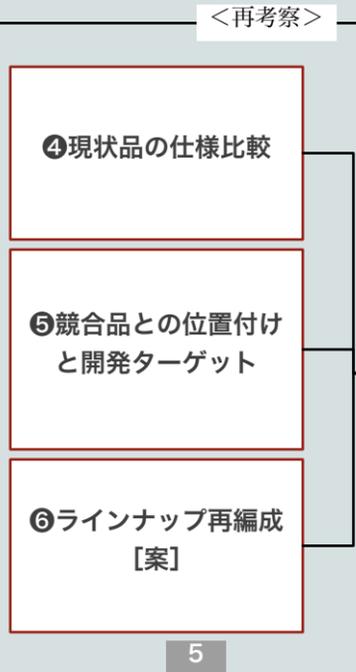


■ SW・EL 廃統合の検討案



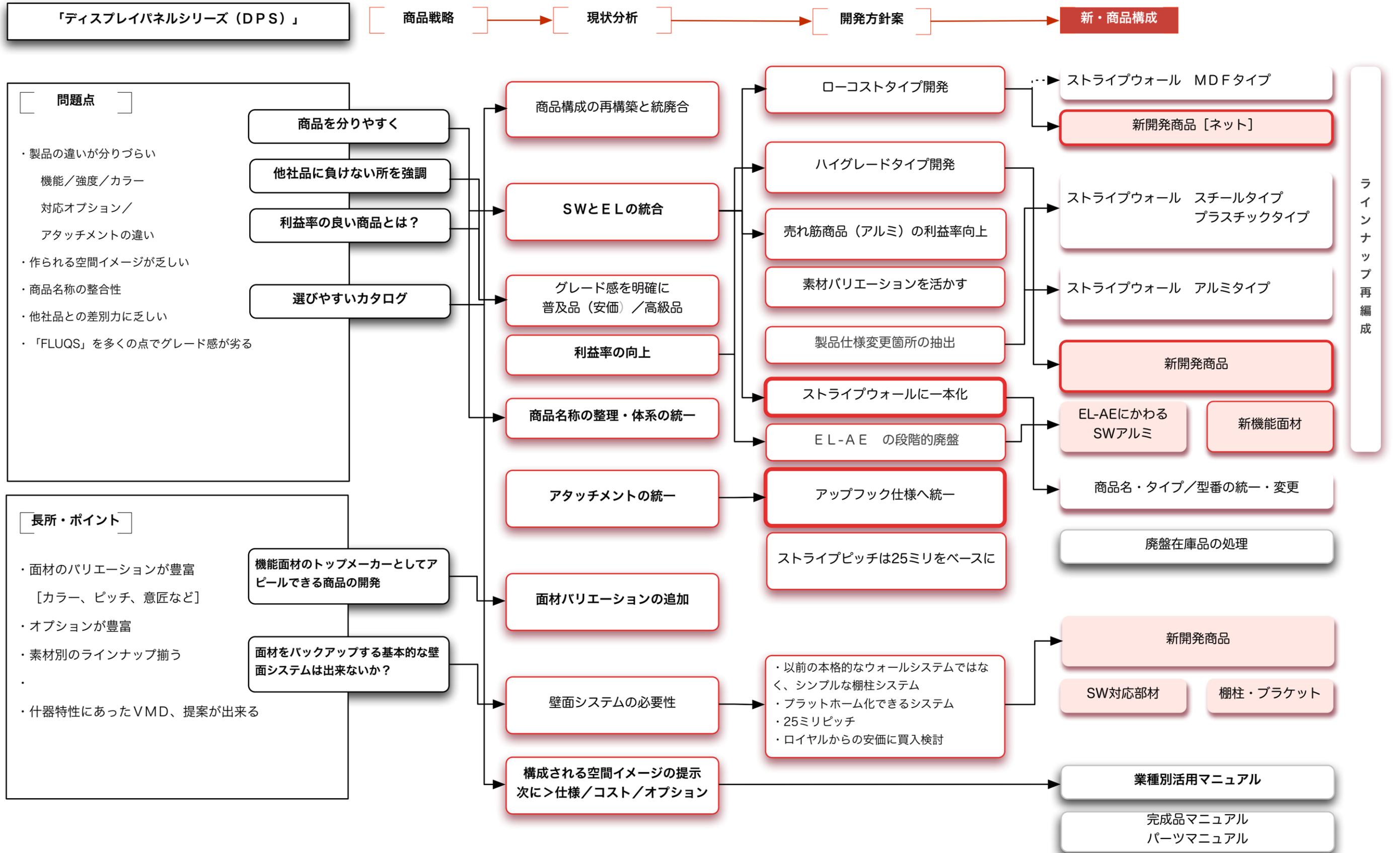
■ 機能面材「ディスプレイパネルシリーズ」 開発方針検討

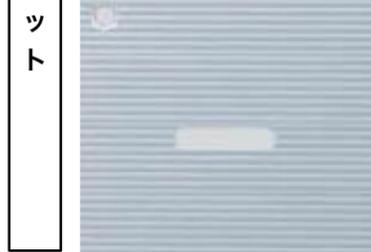
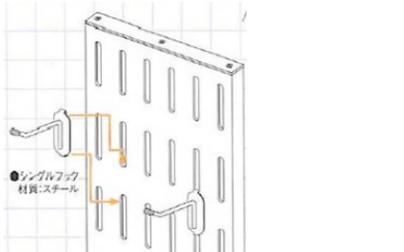
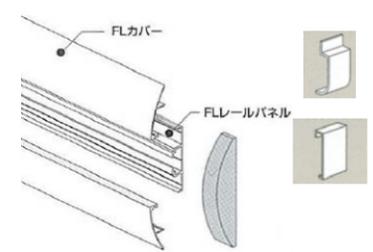
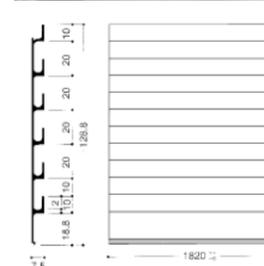
- 2001年建装店舗・店舗開発グループ企画書より
ディスプレイパネル開発の方向性検討項目
- ・アイライン・ストライプウォールの統一
 - ・ディスプレイパネル 大型システム化の製品開発
 - ・スーパーローコストタイプの製品開発
 - ・OEM供給可能な製品開発



<再考察>



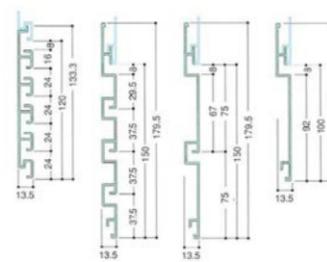
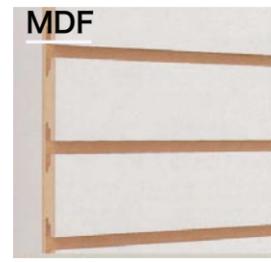




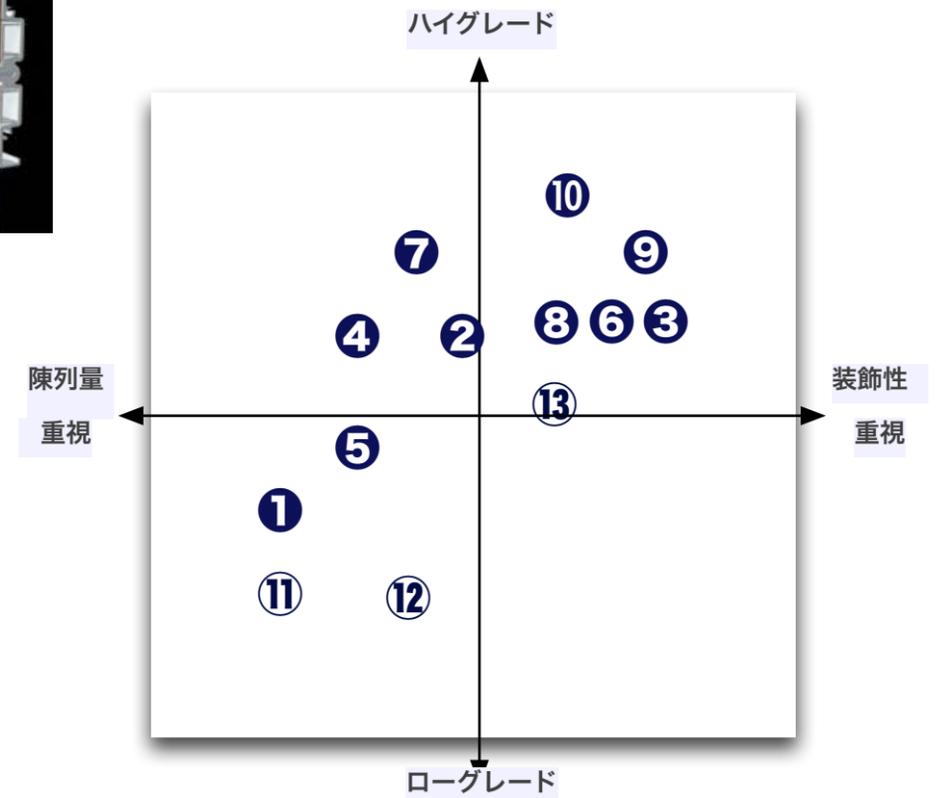
ストライプウォール

ポップスロット

ウォールプラス



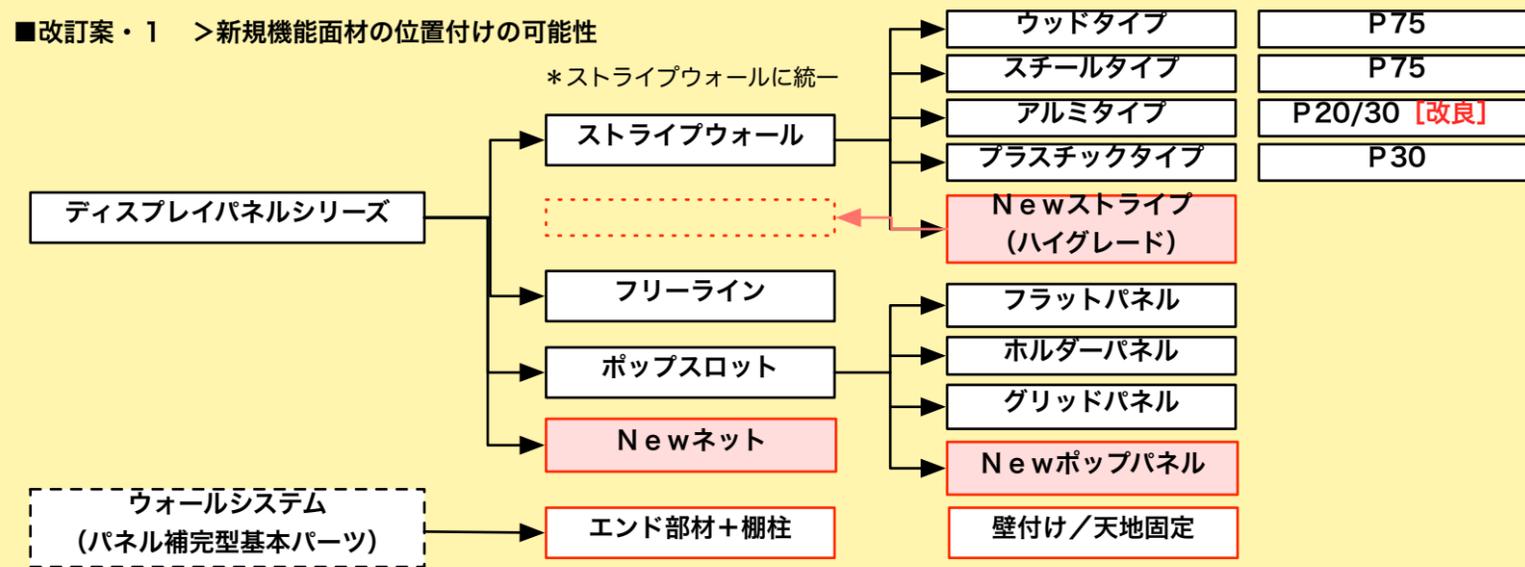
アイライン



■仕様比較表

製品名	品番	材質	ピッチ	加-数	mi販売単価	取付 フレーム	本体 厚み フレーム込	アタッチメント Down Up 可能性も 含め	装着 簡易	外れ 難さ	ハ-ス 種類	凹 ゴミ 清掃	強度	今後展開 修正変更	問題点	改訂案・1 *Upフック を基本	改訂案・2 *Downフック を基本	2005年度 販売金額(千円) *カッコ内オプション	売上構成 比率	
SW	スチールパネル Lタイプ	SW-LA	SPCC	76.2	2→1	13,300	有	13/29	D	△	○	△	△	18	廃盤候補	取付フレームが弱い	廃盤	廃盤	18000?	7.9%
	プラスチックパネル Pタイプ	SW-PS	P	38.1	1	11,000		13.5	D	△	○	△	△	7		古い	廃盤	現状		
	プラスチックパネル スケルトンタイプ	SW-P20F	P	30	2	16,700		9	D	△	○	△	△	3	強度UP	ホワイト追加	Upに変更	現状		
	アルミパネル Aタイプ	SW-A30,30F	AL	30	2、2	24,000		7.5	D/U?	△	○	△	△	10	AL廃盤 の場合、 改良検討	強度が弱い	Upに変更 改良	現状	60318 (15242)	26.5%
	アルミパネル Aタイプ	SW-A20F	AL	20	3	23,000		7.5	D/U?	△	○	△	△	10		強度が弱い	Upに変更 改良	現状		
	フラットパネル	SW-FP	AL	30	1			8	D			△	○				現状	現状	20000?	8.8%
	フリーライン L/M/S	SW-FL	AL		1			13.1	U/P?	○	△	○	△				現状	現状(専用)	1904 (726)	0.8%
	ホルダーパネル	SW-HP	AL	80	1			10	専用			×	○				現状	現状		
EL	スチールパネル Tタイプ	EL-S-T	SPCC	75	1	12,200?	有	14.4/24	U/P?	○	△	○	△	20	統合 加-パ-リ- エ-シ- ヨ-ン		現状	Downに変更 SW化	16801 (41856)	7.4%
	スチールパネル Fタイプ	EL-S-F			3	28,000?				○	△	○	△	20						
	スチールパネル Sタイプ	EL-S-S			1					○	△	○		20						
	スチールパネル アクセントパネル	EL-S-T300	SPCC		1			14.4/24	U/P?	○	△	○	△				現状	SW化		
	ウッドパネル MDFタイプ	EL-MDF	MDF	75	4→3	9,500		18	U/P?	○	△	○	△	30		強度アップは?	現状	Downに変更 SW化	32140 (27088)	14.1%
	ウッドパネル PLWタイプ	EL-PLW	MDF+AL	75	2	16,100		18	U/P?	○	△	○	○	30			現状	Downに変更		
	アルミパネル 重量用ロングタイプ	EL-AL	AL	24 37.5 75 100	2	31,000 34,000 30,000 25,000		13.5	U/P?	○	△	○	○	25	廃盤候補	買入 (低利益率)	廃盤	廃盤	78680 (57583)	34.5%
ポップスロット	グリッドパネル	POPS-G	複合材	150	1	15,500		3/11	専用			×	○	17			現状	現状		

■改訂案・1 > 新規機能面材の位置付けの可能性



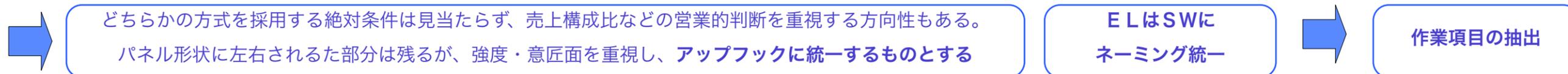
方針>改訂案・1で検討、ELはSWにネーミング統一

■分析・検証点

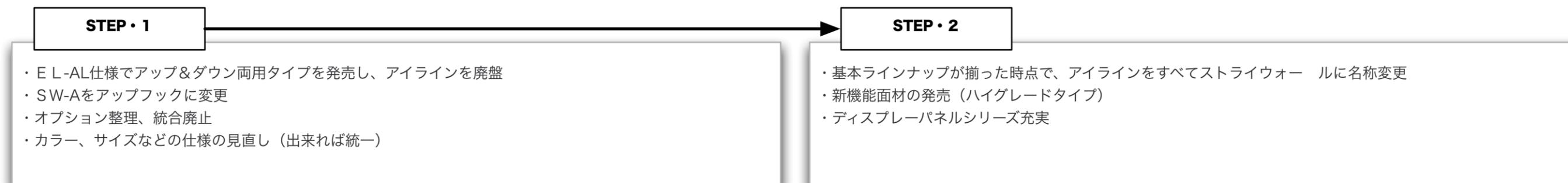
- ・SW・EL共にアルミタイプが売れ筋商品
- ・ストライプウォールはすべて、同じアタッチメント
- ・EL-ALを廃盤にした場合、現状SW-Aでは強度不足
- ・SW-PSは、ピッチ、意匠とも古い、他社になく価格的にも扱いやすい商品という声もある(タキザワ)
- ・EL-Sの販売不信の原因は?

■フック長短比較表

	長所	欠点
アップフック	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルピッチ関係なくオプションが使える（凹部幅が同じ場合） ・強度面で有利、25%程度強い（DPSカタログ P74より） ・小型化が可能 ・アタッチメントを目立たなくできる（ハイグレードの場合、有利） ・凹部の幅に変化を持たせる事が可能（但し、アタッチメントは共通化できない） ・装着しやすい ・埃がたまり難く、清掃が比較的容易 	<ul style="list-style-type: none"> ・利益率の低いアイラインがベースになる ・EL-ALを廃盤にした場合、新たにアルミタイプの開発が必要 >アップ&ダウンの両用タイプは検討済み（図面あり） ・フックは、外れやすい（他社形状との比較が必要）
ダウンフック	<ul style="list-style-type: none"> ・外れ難い（上り止めがある場合は、特に）、フックは比較すると外れ難い ・ピッチに左右されず、取付けが可能（アタッチメント下部が切りっ放しの場合） ・凹部の幅に変化を持たせる事が可能（アタッチメントは共通化が可能） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上り止めを付けるとパネルピッチに合わせたフック部が必要 ・アタッチメント部が目立ち安い ・やや装着しにくい ・埃がたまやすく清掃にやや難がある ・強度面でやや劣る（材料により違いの可能性もあるので検証が必要） ・現状のSW-Aは、耐荷重が半分以下 >アイラインの代替製品にならない



■SWとELの統合と新タイプ開発ステップ



モノクロのマップは、2001年企画書より



ローコスト・タイプ

中国生産のウッドタイプ
プラスチックタイプ
コスト競争のみに特化した開発

建店開発

ボリュームゾーンではあるが、セキスイにとって販売メリットのあるか疑問
→販売ルート絡みのための品揃えだけでは利益に結びつかないのでは？

EL主力のアルミタイプ

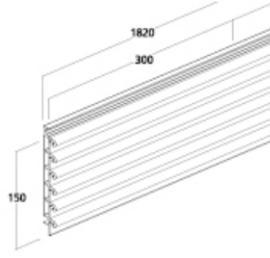
主力商品としての改良商品
投資コストを出来るだけ抑える

ハイグレード・タイプ

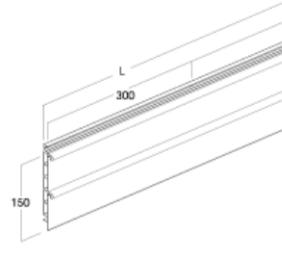
テイスト重視による選択
オリジナリティのある商品
フックなどディテールにこだわる

EXTO SERIES FLUQS [スガツネ+タマトシ]

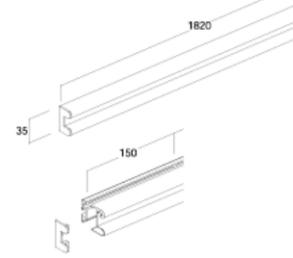
FLUQS 250



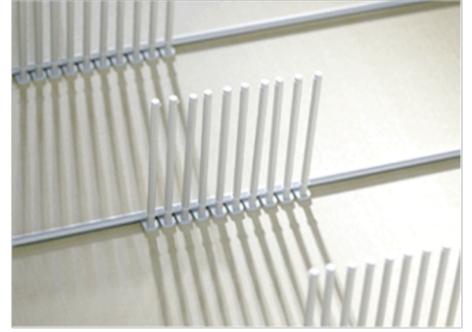
FLUQS 750



FLUQS 25

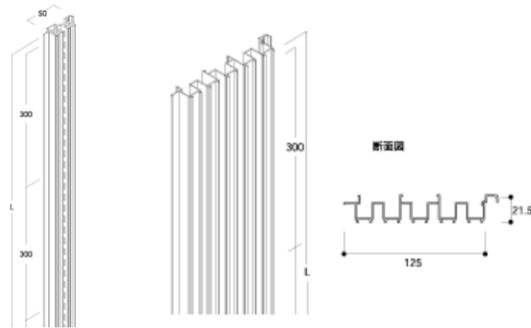


FLUQS ONE



EXTO SERIES SONOL [スガツネ+タマトシ]

SONOL PARTS LIST

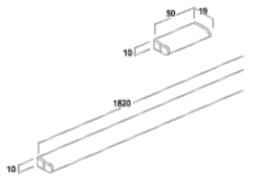


■ポイント

- ・製品構成の明快さ、一貫性
- ・ディテールへのこだわり
コーナー材など
- ・アタッチメントを最小化 (ラインを切らない)
凹部を大きくとり取付フック全体を中に納めている
棚受けもアルミ材

ハイグレード要素

- ・いかに商品を美しく見せられるか
- ・テイスト重視の店作り
- ・繊細な意匠
- ・ディテールへのこだわりを表現
- ・シンプルな意匠、構造



フランジパネルシリーズ [加藤秀]

WFPシリーズ



■ポイント

- ・空間に合わせて仕上げが可能のため、選択しやすく、ポイントが判りやすい
- ・店装業者で加飾、加工が可能
- ・店装業者に付加価値、利益がとれる

FPNシリーズ



EFPシリーズ



ローコスト要素

コストメリットのある生産 (絞込み)
部材に徹したカタログ+マニュアル